

48号です。先進事例を豊中市に役立てるため、29年度に政務活動費を使わせていただいた視察の報告です。

豊中らしさを創る

無所属 37歳

豊中市議会議員



温故創新

駅前・街角での3秒間の出会いを、無限大の関係に！日々の活動などはホームページで。

まつおかあきみち

松岡信道と、豊中新時代へ！



市民のみなさんとスクラム、旧態依然としたしがらみにタックル、温故創新でトライ！を合言葉にゴールへ向かって走ります。

高校生からの主権者教育

選挙年齢引き下げにともない、主権者教育の取り組みが盛んになっていきます。愛知県における行政、教育現場の視察を実施しました。

愛知県立知立東高校

愛知県下で唯一の主権者教育研究指定校となっている知立東高校では、大学教授や地域の町会長を講師として招き、講演の後に学生同士が政治や地域の課題について話し合う授業を展開し、模擬投票も実施しています。教育現場で政治的中立性を担保する難しさが課題ということでした。

名古屋市立大学

大学生が高校へ赴き、模擬選挙の授業を出前講座として実施しており、若者の投票率向上に一役買っています。また、期日前投票所の運営を大学生が行ったりして、若者の政治的関心の向上に努めています。ひとえに指導教官のご尽力であることを痛感しました。

名古屋市選挙管理委員会

名古屋市中では選挙管理委員会と教育委員会が連携して、市立高校主権者教育研修会を実施しており、教育現場での政治的な配慮など具体的な指導があり、教員からの評判も良いそうです。また、選挙管理委員会で青年選挙ボランティアを募集し、大学とも連携しながら若者の政治参加を促しています。

完全米飯給食と牛乳分離

新潟県三条市

和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、日本人の伝統的な食文化が見直されています。新潟県三条市では毎日の給食を米飯に切り替えました。

米飯給食の優位性

ご飯中心の和食は脂肪分が少なく、米粒で食べることは満腹感を持続させます。主菜・副菜と整ったお膳のかたちで必要な栄養素が無理なく揃います。また、日本で自給できるため、安全性を確保できます。

実施後は栄養士、先生、保護者、子どもたちから批判が殺到したそうです。しかしながら、給食の工夫で十年継続した結果、給食残量は減少し、毎朝の朝食を食べる児童生徒が増加、肥満の児童生徒が減少したそうです。

食べ合わせと牛乳分離

米飯給食を実施するなかで、牛乳分離を実施しました。米飯給食と同様、関係者から批判が殺到したそうです。牛乳は学校給食摂取基準を満たすための万能な食材ですが、食べ合わせが給食残飯の要因となっていると考え、給食時間でドリンクタイムを設定し、牛乳は給食と別に飲んでいます。豊中でも給食残量は課題で、完全米飯は反発必至ですが、継続性が結果を出していることに感銘を受けました。

新しい公共のあり方

公営のイメージは安定と非効率かもしれませんが、民間ノウハウを活用して効率的に運営している先進事例を視察しました。

神奈川県大和市

図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、子ども広場といった公共施設を一体的に整備した文化創造拠点シリウスを視察しました。

豊中市も複合型公共施設として千里コラボを整備していますが、それぞれの行政窓口が運営しています。大和市場の場合は、施設を一体的に民間事業者が指定管理しており、来館者一ズにあわせた運営がされています。

愛知県尾張旭市

愛知県尾張旭市は市営バスを運行していましたが、市営バス事業を「公の施設」として指定管理者制度を導入しました。直営だと非効率のイメージがあり値上げしにくく、民間委託であれば赤字路線を税金で負担するだけで事業者自らが赤字を解消しません。指定管理料では運賃収入による利益を折半できるので、民間事業者のモチベーション向上も期待できます。豊中市にも赤字を税金で補助するバス路線があり、今後は公共交通として東西路線を整備していくにあたり、たいへん参考になる先進事例でした。

動画による情報配信をはじめます。ホームページ(<http://matsuoka-akimichi.net>)より、akimiChannelをご覧ください。

メールマガジンを発行しています。ご希望の方は office@matsuoka-akimichi.net までお知らせください。

ロシア総領事館40周年

豊中市には在大阪ロシア総領事館があり、設置されて40周年を迎えました。政令指定都市と東京23区を除いて、在外公館がある市町村は豊中市だけです。

北方領土は返してほしいと思っています。しかし、外交は国政課題であること、どの国とも外交上の課題は存在することから、豊中市として排除したりすることはありえないと思います。

新潟県新潟市

豊中市と同様にロシア総領事館がある新潟市へ、総領事館との連携関係について視察しました。

新潟市はロシアの都市ハバロフスクなどと姉妹都市関係にあり、ロシア総領事館を誘致した経緯がありました。新潟空港とロシアを結ぶ航空便によって、相互交流も行われてきました。

しかしながら、利用者数の減少により、新潟空港からロシア便が廃止されてしまったそうです。現在は新潟市とロシア総領事館が協力して、日本とロシアの両国にロシア便の復便を要望しているそうです。

このほか、新潟市国際交流協会や新潟県立大学が中心となって、新潟ロシア語スピーチコンテストを実施しており、実行委員長はロシア総領事が務めているということです。

twitter(matsuokaakimich)に加え、facebook、Instagramでも情報発信中！みなさんのフォローをお願いします。

豊中市の場合、ロシア総領事館との直接的な関係は構築できていません。これまでもロシア友好団体が主催する行事に市長が参列するだけです。

一方で、バレエダンサーの寺田翠さん、バイオリニストの神尾真由子さんなど、豊中市出身の芸術家がロシアで活躍です。大阪大学外国語学部にはロシア語専攻の大学生がいます。大阪国際空港の国際線復便は海外からも要請があれば前に進むかもしれません。

豊中市にとって、在外公館であるロシア総領事館が所在することをメリツトとして、前向きに考えてまちづくりができるのではないのでしょうか。

豊中青年会議所として

こうした視察を豊中市で活かすにしても、行政を動かすのは時間がかかります。そこで、私も所属する豊中青年会議所を通じて、ロシア総領事館のある豊中の魅力を発信するため、「とよなかロシア祭」を開催しました。

豊中市長やロシア総領事の挨拶にはじまり、総領事館シェフによるロシア料理教室や大阪大学の学生さんによる催し、民族楽器による演奏、舞踊など盛会のうちに幕を閉じました。

豊中市には魅力創造、文化芸術、国際交流、スポーツや空港行政などを所管する都市活力部があります。東京オリンピックを控え、様々な場面での施策展開を検討していきます。

温故創新を受け取ってください、ありがとうございます。記事のリクエストがあれば教えてください。また受け取ってくださいね。

その他の視察と全体総括

愛知県名古屋市

欲張りな私は名古屋市で主権者教育の視察に加え、「危機管理防災アプリ」「レジ袋の有料化」「新たな公共交通」についても視察しました。

「防災アプリ」は津波被害の想定や帰宅困難者になった場合の避難所がスマートフォンで確認できます。予算があれば、豊中市でも導入できます。

「レジ袋の有料化」はゴミ減量が目的ですが、名古屋市では死亡したウミガメの胃袋からレジ袋が検出され、環境問題にも発展して市内全域ですべて有料化されています。6月から北摂地域もレジ袋の無料配布が中止になるので、とても参考になりました。

「新たな公共交通」では市内の巡回移動を活性化するため、様々な検討がされています。

政務活動費は必要

政務活動費を他市比較すると、同じ中核市である東大阪市で月額15万円、隣接する吹田市でも月額11万円です。豊中市は月額7万円ですが、仕事をすればするほど不足が生じ、自費負担となつて、議会の活性化を阻害しています。

市議会が活性化するためには、議員定数などの削減とあわせて、政務活動費の増額など、総合的な観点から予算を配分することが必要だと考えます。

学生の方に・・・社会勉強のために市議会に来ませんか？ 議会インターンシップ、子どもと関わるボランティアも募集しています。

不在時は職員に連絡先をお伝えください。

TEL:06-7178-7785 (携帯転送)

FAX:06-6852-2384 (議会控室)

Mail:office@matsuoka-akimichi.net

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1

※せっかくご連絡いただいても、ネット環境の不具合やFAXの印刷不鮮明などで、お返事できない方がいらっしゃいます。恐れ入りますが、一週間以内に返信がない場合、再度ご連絡いただければ幸いです。

※市議会会派：無所属の会として編集、発行しており、お問い合わせは上記までお願いいたします。なお頒布にあたっては、政務活動費の一部を利用させていただきます。

【政務活動費について】

- 政務活動費は、議員の調査研究活動に加え、広報・広聴、要請・陳情、資料作成・購入などに使用目的が制限されています。
- 豊中市議会は議員一人当たり月額7万円(年額84万円)であり、国会議員の文書通信交通滞在費(月額100万円)や府議会議員の支給額(月額59万円)とは異なります。
- 月額7万円は半期ごとに会派の口座に支給されます。会派の費用を減じた金額が、各議員へ支払われます。支出基準は厳格に定められており、当たり前ですが領収書は一枚から添付します。
- 議員個人の事務所家賃や海外出張を政務活動費で支出することは法律で認められています。しかし、現在の豊中市議会は、こうした部分への支出を自粛し、事務所や姉妹都市出張は自腹です。
- 政務活動費の収支報告書は議会事務局によるチェックを受け、公文書として保管しています。開示請求によりご覧いただけます。

【主な役職歴】2007年以降

豊中市議会 第73代副議長
大阪広域水道企業団議会 副議長
議会改革検討委員会 副委員長
議会報編集委員会 副委員長
空港問題調査特別委員会 副委員長

各常任委員会委員
農業委員会委員
都市計画審議会委員
クリーンランド議会議員など



【略歴】

2007年 初当選 (2,791票)
2011年 2期当選 (5,457票)
2015年 3期当選 (6,024票)